

15th anniversary



GTF Green Challenge day

つなげよう、支えよう 森里川海



【 ご協賛について 】

GTF事務局

はじめに



GTFグレートウキョウフェスティバル実行委員会では、環境省との共催事業として、持続可能な地球環境を次代に残すことを目的に、国・自治体・企業が一堂に会し、それぞれの環境への取り組み「グリーンチャレンジ」を広く市民に紹介・応援するイベント『GTFグリーンチャレンジデー』を、2010年より開催してまいりました。

おかげさまで、2025年は15周年という節目を迎えます。昨年はイベント2日目の動員が1日の動員として過去最多となる2万3千人を超え、市民や企業の環境意識の高まりを実感する機会となりました。

一方で、気候変動の深刻化にともない、国連は「地球温暖化」という言葉に代わり、「地球沸騰化」という表現を用い始めました。気温の上昇、災害の激甚化、生態系の変化は、もはや遠い未来の話ではありません。

今年のGTFは、これまでの「生物多様性の保全」「脱炭素社会の実現」「ネイチャーポジティブ」に加え、令和6年能登半島地震の復興支援、そして「地球沸騰化」時代における新たな挑戦として、「流域の地域循環共生圏」をテーマに掲げます。

いま必要なのは、地域や企業が“流域”というつながりの中で手を取り合い、緩和と適応の両輪で未来への責任を果たすこと。知恵と工夫を循環させ、健やかな地球を次世代へつなぐアクションが求められています。

このような趣旨のもと、本年もGTFグリーンチャレンジデーを、11月1日（土）・2日（日）に新宿御苑にて開催いたします。

本企画の実現には、多くの皆様方のご理解とご支援が必要です。

つきましては、本企画へのご協賛を賜りたく、ご検討のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ご検討賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。

令和7年7月吉日

GTFグレートウキョウフェスティバル実行委員会

実行委員長 後藤 亘

企画財務委員長 磯 和樹

ご協賛により期待できること

本イベントは、環境省、新宿区、メディア企業共催により、環境や生物多様性の保全、持続可能な社会形成（SDGs）などに対する取り組みについて、多くの方に楽しく学んでいただくためのイベントです。社会的意義の高いイベントへの参画を通じ、貴社のブランディング、認知度向上、関係人口の創出・拡大、CSRやCSV活動のPR、従業員様のチームビルディング等にお役立てください。直接、消費者と交流できる貴重な機会をお役立て下さい。

01 企業の価値向上

グリーンチャレンジ（環境への取り組み）に取り組んでいる企業は、投資家や消費者から高く評価されると言われています。自社が本業が環境に負荷を与えている場合は、特に、責任をもって対処する姿勢を広く発信することで、企業のイメージ、ブランドカアップに繋がります。

02 ダイレクトマーケティング

ファミリー層を中心に、多くの方が参加されるイベントです。BtoC、BtoB問わず、自社の環境への取り組みや製品、サービスについて、消費者の声、感想、反応を直接確認できる機会となります。

03 新入社員研修

新入社員の方々に対して、本業についての研修は十二分に行えているが、CSR活動、サステナビリティ等にまでは教育しきれていない、というお声も伺っております。既存の協賛社様の中には、本イベントに協賛し、ブース出展の主担当を新入社員チームにすることによって、自社の環境への取り組み、SDGsへの取り組みを自発的に学ぶ機会とする社員研修の場として活用頂いている企業様もございます。

04 チームビルディング、離職対策

全国に拠点があり、部署も多岐に渡ることから、業務も縦割りになり、業務やエリアを超えた従業員同士の交流が出来ない、という課題に対する解決策としてご活用頂いているケースもございます。

支店や部署ごとに、ブース出展の担当者を決め、①会社の環境への取り組みを知る ②ブースの内容を決める ③役割を決める ④出展中に頂いたお客様の反応を、今後どう生かせるか、事後にディスカッションする などの一連のプログラムが、横の連携を作り、会社への帰属意識向上、離職対策にもつながったというお声も頂いております。

05 ファンづくり

年々来場者数も増えていることから、企業のファンづくり、関係人口拡大が期待できます。

06 ネットワークづくり、新たなビジネスチャンス創出

イベント2日目に、共催、協賛、後援などの皆様にお集まりいただき、交流を目的とした「関係者のつどい」を開催しております。本会でのネットワーキングが起点となり、新たなビジネスチャンスが生まれた、とのお声も頂いております。

イベント協賛パッケージ

				ゴールド 500万	シルバー 300万	ブロンズ 100万
提供	① ブース出展	サイズ	● イベント当日、イベントエリアに右記ブースセットをご用意致します ● 電気を使用される場合は、別料金を承ります ● 追加ブース出展をご希望の場合は、別途出展費を承ります	2×3 D3600× W5400	2×3 D3600× W5400	
		長机	● 環境配慮の観点から、各出展ブースのバラベットの看板をご用意いたしません。看板はご持参くださいますようお願い致します。	4	3	
		椅子		6	6	
		社名吊看板		0	0	
		出展場所	ご希望の位置に優先配置します。	○		
	② 招待券		イベント参加招待券を提供	10	4	2
	③ VIPエリア		会場内に設けたVIPエリアへご招待。共催・協賛各社の皆様との交流の場をご用意。	4	4	2
ステージ	④ 会場ステージPR枠		① オープニングセレモニー、クロージングにて司会者より協賛社名紹介 ② ステージ上で貴社ブース内容PR（*グリーンフォトチャレンジと連携し、貴社ご担当者にご登壇頂く枠を設けます）	3分×2日	3分×1日	
グリーンフォトチャレンジ	⑤ スポンサー賞		フォトコンテスト参加者に、抽選で、貴社名の賞を授与します。	○		
	⑥ サンプリング		インフォメーションブースにて、サンプリングを承ります（感染症対策の観点から内容等応相談）	○		
印刷物	⑦ 公式フライヤー（A4両面カラー）		イベント公式フライヤーに協賛ロゴ掲示（20,000～30,000部）	上位表記	○	○
	⑧ 公式ポスター（A1/A2片面カラー）		イベント公式ポスターに協賛ロゴ掲示（例年：50～100部）	上位表記	○	○
	⑨ 公式プログラム		イベント公式プログラム（ウェブサイトからDL）に協賛ロゴ掲出	上位表記	○	○
	⑩ 会場内掲示物		イベント会場内に設置する看板等に協賛ロゴ掲示	上位表記	○	○
WEB/SNS	⑪ 公式イベントサイトロゴ掲示とリンク		公式イベントサイトへの協賛ロゴ掲示とリンク貼付	上位表記	○	○ (リンク無し)
	⑫ 公式イベントサイトに貴社ブース紹介		①のブース内容、環境の取り組みを公式イベントサイトで紹介	○	○	
	⑬ SNS配信		『私たちのグリーンチャレンジ』と題し、貴社のグリーンチャレンジ（環境保全活動）を、公式noteにて配信	○	○	—
権利関係	⑭ 呼称権		（協賛社名）は本イベントの●●●です。と呼称する権利	○	○	○
	⑮ ロゴ使用权		協賛社広告もしくはマーケティング、ノベルティ制作等にて本イベントのロゴ使用权	○	○	○
	⑯ 公式メディア使用权		事務局作成の写真、映像その他メディア資料を協賛社宣伝活動に使用する権利	○	○	○

※初回印刷物は2025年9月中旬校正予定となり、以降のご決定の場合、クレジット表記が掲載されない場合があります。

※チラシ等の配布枚数は、環境負荷を減らし、枚数を削減する可能性があります。

※ご協賛対価として、別途、ご要望がございます場合は、事務局にご相談下さい。

スポンサーメリット



提供



ブース出展

テントサイズ・備品数・出展位置は協賛プランにより変動。



招待券

新宿御苑への招待券（入場券）を提供。



VIPエリア

オフラインイベント会場内に設けたVIPエリアへご招待。

ステージ



ステージ上で出展ブース内容や環境保全の取り組みをPR。司会者から協賛社名アナウンス。

印刷物・WEB



フライヤー・ポスターにロゴ表示

各種印刷物に協賛ロゴを露出。サイズや位置は協賛プランによる。



会場内掲示物

インフォメーションやステージ両脇に協賛パネルを掲出。

スポンサー賞



② **プチクマのお菓子のでんしや**
2名様

提供元：ブルボン様



③ **お〜いお茶一番摘み1000**
おまけ付き
5名様

提供元：伊藤園様



④ **ずかんミュージアム銀座 特別入場券**
1組4名様（大人2 子も2）

提供元：小学館様

グリーンフォトチャレンジにて貴社名入りの賞を授与

フォトコンテスト参加者に抽選で貴社名入りの賞を授与

* 対象企画変更の可能性有

ブース出展について



本イベントは、環境省、新宿区、メディア企業共催により、環境や生物多様性の保全、持続可能な社会形成（SDGs）などに対する取り組みについて、多くの方に楽しく学んでいただくためのイベントです。社会的意義の高いイベントへの参画を通じ、貴社のブランディング、認知度向上、関係人口の創出・拡大、CSRやCSV活動のPR 等にお役立てください。直接、消費者と交流できる貴重な機会をお役立て下さい。

01 CSR・CSV活動のPR

環境や生物多様性保全活動、環境に関するSDGs活動の報告やPR、ファンづくり、アンケート実施等の場としてご利用頂けます。

パネル展示、動画放映、
生物多様性や自然に親しむ各種
ワークショップの実施



環境CSR活動報告とワークショップ



エコクラブの活動報告

02 環境配慮型の商品PR・販売

企業・団体が生産・販売する環境配慮型の商品やサービスのPR、販売の場としてご利用頂けます。

環境配慮型の商品やサービスのPR、
体験、および販売など



環境配慮型の日用品の販売



旬な青果物の販売

03 自然・観光資源の魅力発信

各地の自然・生きもの・食・アウトドアアクティビティの魅力発信、観光PRの場としてご利用いただけます。

各種パネル展示・パンフレット配布
(ネイチャー・ツーリズム)、アウト
ドア模擬体験など



地元の間伐材を使ったワークショップ



ネイチャー・エコツーリズムのPR

04 支援の輪・関係人口の拡大

自然災害からの復興、過疎地域における関係人口の拡大を図る場としてご利用いただけます。

地域の特産物・生産物のPRや販売、
ふるさと納税のPR、ワーケーション・移
住体験のPR等



被災地の農産物のPR



ふるさと納税返礼品の紹介

ブース出展サイズ



内容	ご協賛 プラン	ゴールド	シルバー
テントサイズ	W5400×D3600		
イメージ			
1テントあたりの 出展者数		1	2
1出展者あたりの スペース		W5400×D3600	W3600×D2700
横幕		有	有
間仕切り			有
机		3	1
パイプ椅子		6	2
吊看板★2		なし	なし

ブース基本セット

<ブース出展について>

◆イベント趣旨から外れる内容のブース出展はお断りしております。

<ご遠慮頂いている業種>

宗教、風俗、ねずみ講、マルチ商法等（アダルト、出会い系、消費者金融、ギャンブル）※その他協賛に関して、主催者と協議相談とさせていただきます。

◆アルコール飲料の販売とサンプリング、ガスを使用する調理による物販提供は、新宿御苑使用上の規定により禁止です。

◆脱プラスチックへの取り組みとして、商品を入れるビニール袋の配布、プラスチック容器等の使用はお控え下さい。

◆新宿御苑の芝生を保護するため、重り等の使用は禁止します。荷物を芝生の上に直置きしないでください。また、踏圧を分散させる為、初日と2日目ブース内のレイアウトを変更するなどの工夫をお願い致します。

◆ブース全体の配置は、出展内容をもとに事務局側で決定します。

◆ごみの削減のため、2022年よりテント看板の制作を廃止致しました。看板は、必要に応じ各出展者でご用意ください。のぼり旗の使用は原則禁止です。

◆ブース基本セット以外の会場施工費、制作費、ブース運営費は協賛費用に含まれません。別途お見積り致します。

◆感染症対策や天候等の理由により、テント仕様等が変更になる可能性があります。予めご了承下さい。

出展に関する禁止・注意事項



「GTFグリーンチャレンジデー2024 in 新宿御苑」に出展する関係者が、その準備・当日のイベント実施に必要な事項について整理したものです。新宿御苑の中では、以下の事項は一切できませんので、十分ご留意いただきますよう、お願いいたします。

禁止事項

以下は新宿御苑を利用するすべてのお客様が厳守すべきルールになります。（一部変更になる可能性あり）

- ① バドミントン、ボール、フリスビー等遊具の使用
- ② 動植物の採取・持込みおよびエサやり
- ③ テントの設置および火気の使用
- ④ アルコール類の持込み
- ⑤ 喫煙（電子タバコ含む）＊喫煙所はありません
- ⑥ 楽器やラジカセ等の使用
- ⑦ ペットの持ち込み（補助犬は可）
- ⑧ ドローンの使用
- ⑨ 〈禁止〉商用撮影
〈事前届出〉レフ板（32cm超）使用や
モデル撮影

厳守事項

以下はGTFグリーンチャレンジデーの関係者の皆様が厳守すべきルールになります。

① 開園中における車両の乗り入れ

開園中の車両の乗り入れは原則として禁止です。厳守・徹底をお願いします。

② 芝生エリアの保護

イベント会場は美しい芝生が広がる風景式庭園になります。芝生を傷めないよう、台車で乗り入れ、及び、芝生の上に荷物を長時間置きすることは禁止となります。また芝生を裸足で歩くお子様のけがや芝刈り機の故障の原因となるため、釘や画鋲の使用も禁止となります。

③ 使い捨てプラスチック製品の使用・販売

環境イベントにつき、ペットボトル飲料の販売、使い捨てプラスチック製品（レジ袋・カトラリーなど）の使用や販売はご遠慮いただきます。

④ ごみの持ち帰り

ゴミは全て、お持ち帰りをお願い致します。会場では処理できません。「持ってきたものは、持ち帰る」精神をお願いします。一切のゴミは、全てお持ち帰りをお願い致します。イベント趣旨をご理解の上、ご協力をお願い致します。

⑤ 「行事における臨時出店届」の提出について

飲食物の配布や販売を希望する出展者は、「臨時出店者が出展する場合」を精読の上、「行事における臨時出店届」を事務局へメール、またはFAXにて提出して下さい。提出書類をもとに環境省新宿御苑管理事務所との事前協議を経た上で、新宿区保健所へ申請いたします。保健所への申請は「GTF実行委員

会事務局」（以下、事務局と略）が一括して行います。なお、内容により許可が下りない場合もありますので、お早めに事務局へご相談ください。衛生上、保健所と環境省の指導に則って運営していただくこととなります。

⑥ 募金活動等について

募金活動等（募金の「呼びかけ」）は、禁止となります。

⑦ 署名についての「呼びかけ」

署名の呼びかけは禁止とさせていただきます。（署名用紙を設置して、それに記入していただく程度はかまいません。）※署名活動を行う場合は必ず主催者・公園側に事前に届け出ること。

⑧ 保険について

本企画では、来場者に対する最低限のイベント保険（傷害保険）に加入していますが、危険なプログラムを実施する団体は、参加者が怪我などをした場合に備え、行事保険（傷害保険・損害賠償責任保険等）に加入して頂くことをお勧めします。尚、出展者・ブース運営者はイベント保険（傷害保険）の対象外となります。予めご了承ください。

⑨ その他

事務局および、環境省新宿御苑管理事務所等が指示した事項には、従うようにしてください。法的制限に係る事項（許可等）についても、十分な注意をお願いします。

出展者説明会



イベント趣旨及び出展概要をご理解頂く為に、
以下の日程で出展者説明会と会場ロケハンを行います。

オフライン、オンラインのいずれかで、必ずご参加いただいております。

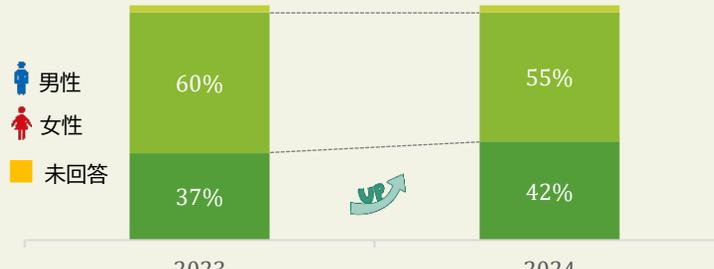
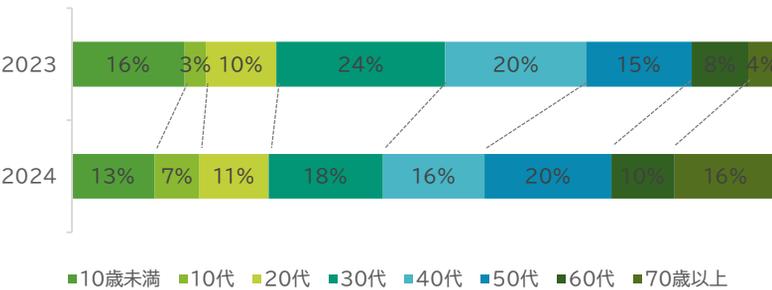
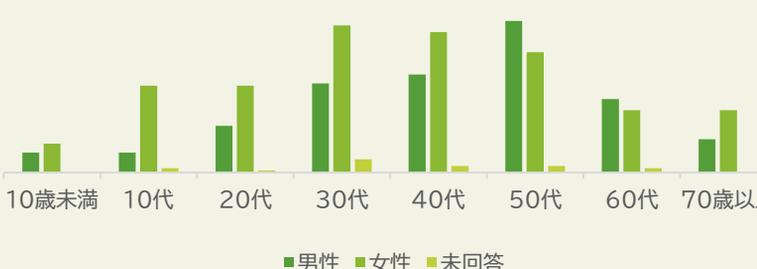
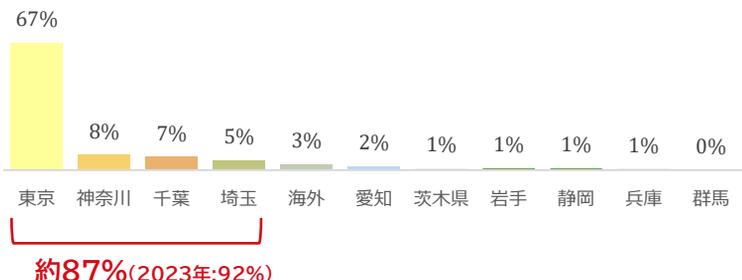
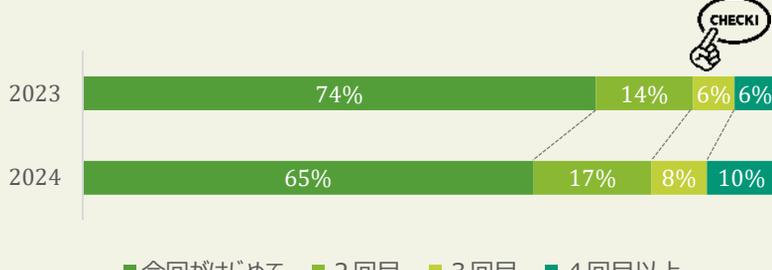
※ご出席が難しい場合は、予め事務局にご相談下さい。

GTFグリーンチャレンジデー 出展者説明会

日 時	2025年 10月7日（火） 13:00-15:30 ※予定
会 場	新宿御苑 管理事務所 会議室 ※オンライン参加者は zoom を使用します ※会場へのアクセスは、出展申込受付後にご案内する出展者マニュアルに記載。
持 ち 物	最新版の出展者マニュアル（PDF） 、筆記用具 ※ 当日出展者マニュアルのコピーの用意はありません 。各自PC等にダウンロードまたは印刷してお持ち下さい。
内 容	<ul style="list-style-type: none">✓ イベント趣旨・概要説明✓ ブース出展について（搬入出・設営・撤去・イベント当日について）✓ 質疑応答✓ ブース位置確認✓ 動線確認
備 考	ご出席が難しい場合は、予め事務局にご相談下さい。

【2024年 参加者プロフィール】



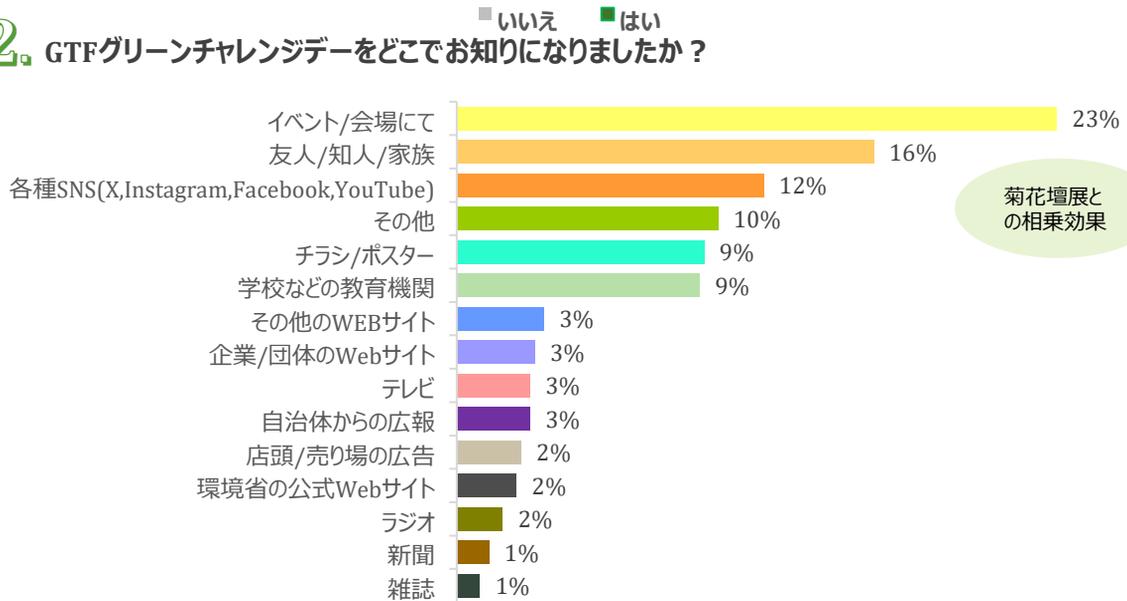
		2023年との比較
 <p>男女比</p>	 <p>2023: 男性 60%, 女性 37%, 未回答 3%</p> <p>2024: 男性 55%, 女性 42%, 未回答 3%</p>	<p>男性の割合が若干増えた。</p>
 <p>年齢層</p>	 <p>2023: 10歳未満 16%, 10代 3%, 20代 10%, 30代 24%, 40代 20%, 50代 15%, 60代 8%, 70歳以上 4%</p> <p>2024: 10歳未満 13%, 10代 7%, 20代 11%, 30代 18%, 40代 16%, 50代 20%, 60代 11%, 70歳以上 16%</p>	<p>2024年度は、10代と70歳以上の割合が大幅に増加した。菊花壇展との連携が奏功したと思われる。</p>
 <p>年齢層/性別</p>	 <p>10歳未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上</p> <p>■男性 ■女性 ■未回答</p>	<p>50代・60代を除いて女性参加者の割合が高い。特に10代の女性参加者の割合が非常に高い。</p>
 <p>地域</p>	 <p>東京 神奈川 千葉 埼玉 海外 愛知 茨木県 岩手 静岡 兵庫 群馬</p> <p>約87%(2023年:92%)</p>	<p>2023年度より首都圏在住者の割合が減った一方、遠隔地からの参加者の割合が増加した。特に海外在住の方の来場が増加した。</p>
 <p>イベントへの参加回数</p>	 <p>2023: 今回がはじめて 74%, 2回目 14%, 3回目 6%, 4回目以上 6%</p> <p>2024: 今回がはじめて 65%, 2回目 17%, 3回目 8%, 4回目以上 10%</p>	<p>2023年度よりもリピーターが増加した。</p>

【2024年 アンケート結果】

01. イベント参加後の「環境（地球温暖化や生物多様性、森里川海の恵み）」への意識の変化
例年同様、ほとんどの人が環境への意識に変化があったと回答。



02. GTFグリーンチャレンジデーをどこでお知りになりましたか？



03. あなたが始めてみたい、地球に優しいアクション「グリーンチャレンジ」を教えてください。

「リサイクル・リユース」がトップ。今回初めて「節電」がトップ5にランクイン。

TOP5



34%

リサイクル・リユース



25%

ゴミを減らす



11%

マイバッグ・マイボトル・
マイ箸・マイストロー



9%

節電



7%

フードロス

04. フォトコンテストで人気の高かった景品

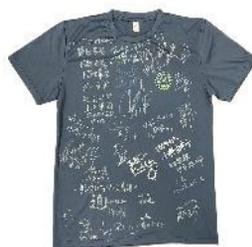
出演者のサイングッズ、おせち料理に人気集中した。



SATOYAMA & SATOUMI
movement全出演者
サイン入りエコTシャツ



SATOYAMA & SATOUMI
movement全出演者
サイン入りエコバッグ



GCD2024
全出演者サイン入り
エコTシャツ



GCD2024
全出演者サイン入り
エコバッグ



2025迎春
Wakiya特製おせち



GTFグリーンチャレンジデー 2025 in 新宿御苑

つなげよう、支えよう **森里川海**

